

「学校図書館司書教諭講習講義要綱」改定版（第一次案）

「学校経営と学校図書館」

「学校図書館メディアの構成」

「学習指導と学校図書館」

「読書と豊かな人間性」

「情報メディアの活用」

公益社団法人全国学校図書館協議会
司書教諭講習テキスト編集委員会

| | |
|-----|------------|
| 科目名 | 学校経営と学校図書館 |
|-----|------------|

科目のねらいと概要

当科目は、現代社会や学校教育の動向を踏まえ、学校図書館の理念・目的・役割・活動内容等の理論と実践について学び、学校図書館の現状と課題を明らかにして、学校図書館の専門的職務を担う司書教諭等に求められる役割や職務について基本的な理解を図ることを目的としており、司書教諭講義科目全体の総論的性格をもっている。学校図書館では、これまで他の館種に比べて、施設・設備の規模が比較的小さく、専門的職員の配置も不足していたことにより、多くの学校図書館では学校図書館担当者の経験や勘に頼った図書館運営が行われてきたが、今後は計画・実行・評価・改善という経営サイクルに即した効果的、効率的な図書館経営が求められている。当科目は、そのための中心的な科目であり、その学習を通して学校の教育目標の達成を支援し、意欲的・創造的で魅力のある学校図書館活動を実現していく人材の育成に資する科目である。

内容

| 回数 | 内容 | |
|-----|------------------------|----------------|
| 第1回 | タイトル | 学校教育の理念と学校図書館 |
| | 1)学校教育の理念と意義 | |
| | 2)学校図書館の理念と使命 | |
| | 3)現代の教育課題と学校図書館 | |
| 第2回 | タイトル | 学校図書館の歴史 |
| | 1)戦後の新教育と学校図書館 | |
| | 2)学校図書館法の制定とその変遷 | |
| | 3)学校図書館の現代化とその課題 | |
| 第3回 | タイトル | 学校図書館の法と行政 |
| | 1)学校図書館の法体系 | |
| | 2)学校図書館法の目的と内容 | |
| | 3)学校図書館の関連法令・規則 | |
| | 4)学校図書館行政と諸基準 | |
| 第4回 | タイトル | 学校の教育課程と学校図書館 |
| | 1)学習指導要領の変遷と学校の教育課程 | |
| | 2)学習指導要領における学校図書館の位置づけ | |
| | 3)学校図書館の教育的役割 | |
| 第5回 | タイトル | 学校図書館の機能・役割 |
| | 1)学校図書館機能の変遷 | |
| | 2)学校図書館の読書センター機能 | |
| | 3)学校図書館の学習センター機能 | |
| | 4)学校図書館の情報センター機能 | |
| 第6回 | タイトル | 学校図書館担当者の任務と役割 |
| | 1)司書教諭の任務と役割 | |
| | 2)学校司書の任務と役割 | |
| | 3)学校内の協力体制 | |
| | 4)校内外の研修への参加と実施 | |

| 回数 | 内容 |
|------|---|
| 第7回 | タイトル 学校図書館の経営 1)学校経営と学校図書館 2)学校図書館の経営の諸要素 3)学校図書館の経営サイクル |
| 第8回 | タイトル 学校図書館の管理 1)学校図書館の設置と学習環境 2)学校図書館の施設・設備の基準 3)学校図書館の効果的な管理 |
| 第9回 | タイトル 学校図書館の運営 1)学校図書館活動の内容と方法 2)学校図書館メディアの選択・収集・提供 3)学校図書館の資料・情報提供活動 4)学校図書館のその他の活動 |
| 第10回 | タイトル 学校図書館の学習活動への支援 1)学校図書館の教科・授業への支援 2)学校図書館の探究的学習への支援 3)学校図書館活用スキルの育成指導 |
| 第11回 | タイトル 学校図書館の特別活動への支援 1)特別活動の意義と役割 2)学校図書館の特別活動への支援 3)校内の委員会等の活動への支援 |
| 第12回 | タイトル 学校図書館の連携・協力 1)生涯学習と連携・協力 2)図書館類縁機関との連携・協力 3)学校図書館支援システムの構築 |
| 第13回 | タイトル 学校図書館と特別支援教育 1)特別なニーズを持つ子どもへの支援 2)障害者差別解消法と学校図書館の環境整備 3)特別支援学校における図書館活動の実際 |
| 第14回 | タイトル 学校図書館活動の評価と改善 1)学校図書館活動の評価の意義 2)学校図書館活動の評価方法 3)評価結果に基づく学校図書館活動の改善 |
| 第15回 | タイトル 学校図書館の将来像 1)アクティブ・ラーニングの推進と学校図書館 2)ラーニング・コモンズとしての学校図書館 3)読書・学習コミュニティにおける協働 |

| | |
|-----|--------------|
| 科目名 | 学校図書館メディアの構成 |
|-----|--------------|

科目のねらいと概要

学校教育における学校図書館の活用を促すためには、学習活動・読書活動の展開に資するコレクションが質・量ともに充実していることが大切である。そのためには、図書はもちろんのこと、それ以外のメディアを含めたコレクションを適正な構築が求められる。

本科目は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を目指しながら、学校図書館メディアの専門職である司書教諭としての基本的な知識を獲得することを目的とする。

具体的には、まず、高度情報社会における学習環境の変化にともなうメディアの教育的意義と役割について知り、あわせて各種メディアの種類と特性を把握する。また、学習活動・読書活動に資する学校図書館メディアのコレクション構築のための実際的プロセスを理解し、選択・収集・更新・廃棄の実務能力を身につける。さらに、組織化に関して、その目的・意義とプロセスを理解し、目録や分類などの実務能力を獲得する。

内容

| 回数 | 内容 |
|-----|--|
| 第1回 | <p>タイトル 学校図書館メディアの教育的意義と役割</p> <p>1) 高度情報社会とメディアの多様化 2) メディアの教育的意義と活用 3) 学校図書館とメディア</p> |
| 第2回 | <p>タイトル 学習環境の変化と学校図書館メディア</p> <p>1) 学習環境の変化と学校図書館 2) 教育課程の展開と学校図書館メディア</p> |
| 第3回 | <p>タイトル 学校図書館メディアの種類と特性(1)</p> <p>1) 印刷メディア(図書、新聞、雑誌など) 2) 視聴覚メディア 3) 電子メディア(パッケージ系) 4) ネットワーク情報資源(電子書籍を含む) 5) ファイル資料、地域資料、模型・標本など</p> |
| 第4回 | <p>タイトル 学校図書館メディアの種類と特性(2)</p> <p>1) インクルーシブ教育の推進と学校図書館メディア 2) 特別な教育ニーズに応えるメディアの種類と特性(点字資料、音声資料、拡大文字資料、LLブック、マルチメディアディジー、布の絵本、手話付き資料、外国語による資料など)</p> |
| 第5回 | <p>タイトル 学校図書館におけるコレクション構築の基本</p> <p>1) 図書中心から多様なメディアのコレクション構築への転換 2) コレクション構築のプロセス 3) コレクション構築に関わる基準</p> |
| 第6回 | <p>タイトル 学校図書館におけるコレクション構築の実際(1):選択と収集</p> <p>1) 収集方針と選択基準の作成と運用 2) 選択と収集の体制と方法 3) 選択のための各種ツール</p> |

| 回数 | 内容 |
|------|---|
| 第7回 | <p>タイトル 学校図書館におけるコレクション構築の実際(2):維持と発展(更新・廃棄を含む)</p> <p>1)コレクションの維持(蔵書点検、補修など) 2)コレクションの更新と発展(除籍・廃棄基準の作成と運用、コレクションの評価法を含む)</p> |
| 第8回 | <p>タイトル 学校図書館におけるファイル資料の整備</p> <p>1)学校図書館におけるファイル資料整備の意義 2)ファイル資料の種類 3)ファイル資料の整備と維持の方法</p> |
| 第9回 | <p>タイトル 学校図書館メディア組織化の基本</p> <p>1)学校図書館メディア組織化の意義 2)学校図書館メディア組織化のプロセス 3)メディアの種類ごとの組織化の特徴と留意点 4)学校図書館メディア組織化をめぐる新たな動向</p> |
| 第10回 | <p>タイトル 学校図書館メディア組織化の実際(1):目録法①</p> <p>1)目録の意義 2)目録の種類と特性 3)目録のコンピュータ化</p> |
| 第11回 | <p>タイトル 学校図書館メディア組織化の実際(2):目録法②</p> <p>1)コンピュータ時代の目録規則と目録作業 2)日本目録規則(NCR)の概要 3)目録作業の実際</p> |
| 第12回 | <p>タイトル 学校図書館メディア組織化の実際(3):主題索引法①</p> <p>1)分類の意義 2)日本十進分類法(NDC)の概要 3)分類作業の実際 4)分類記号と所在記号(請求記号)</p> |
| 第13回 | <p>タイトル 学校図書館メディア組織化の実際(4):主題索引法②</p> <p>1)自然語と統制語 2)件名標目の意義 3)件名標目表の種類と概要 4)件名作業の実際</p> |
| 第14回 | <p>タイトル 学校図書館におけるコレクションの配架と提供</p> <p>1)配架の原則 2)配架の工夫(別置、コーナーづくりなど) 3)サイン計画</p> |
| 第15回 | <p>タイトル これからの学校図書館メディアとその構成</p> <p>1)授業のまとめ 2)学校図書館メディアをめぐるこれからの方向性と展望</p> |

| | |
|-----|------------|
| 科目名 | 学習指導と学校図書館 |
|-----|------------|

科目のねらいと概要

現代社会はグローバリゼーション、情報化等により、大きな変化が急激に生じている。その様な社会においては、近代学校教育が担っていた役割、すなわち3Rsと基本的な知識や技能を習得させることだけでは足りず、高度で複雑な問題解決に対応していくように、言語能力、コミュニケーション能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等、より高度な資質・能力の育成が求められる様になってきている。学校図書館の利活用の視点からすれば、司書教諭は学校図書館における情報活用能力の育成の意義・方法をどのように教育課程に位置づけ展開していくかを主導する使命をもっている。このような学校教育の中で教育課程の展開に寄与する学校図書館はどのような機能を果たし得るのか。また、そのためにどのような整備を行っていけばよいか、以下5点から検討する。

- (1)学校教育における学校図書館
- (2)学校図書館における情報活用能力の育成と学校図書館
- (3)学習指導を支える学校図書館メディアと環境の整備
- (4)学習指導の実際と学校図書館
- (5)これからの学習指導と学校図書館

内容

| 回数 | 内容 |
|-----|---|
| 第1回 | タイトル 現代の学校教育と学校図書館 1)学校教育の現代的課題と学び 2)横断的・総合的な学習で育てる資質・能力 3)新たな学びを支える学校図書館学校図書館 |
| 第2回 | タイトル 教育課程の編成と学校図書館 1)学校教育における教育課程 2)教育課程の編成と学校図書館における情報活用能力の育成 3)主体的・対話的で深い学びと学校図書館 |
| 第3回 | タイトル 学習指導要領と学校図書館 1)学習指導要領総則における学校図書館 2)各教科等における学校図書館 3)言語能力の育成と学校図書館 4)探究的学習と学校図書館 |
| 第4回 | タイトル 学校図書館における情報活用能力の育成 1)米国における情報リテラシー教育の展開 2)情報リテラシー育成の必要性と情報リテラシーモデル 3)図書館利用指導から情報活用能力の育成へ |
| 第5回 | タイトル 学校図書館における情報活用能力の育成と評価(1) 課題の設定 1)探究的な学習の学習過程と指導と評価 2)問題意識の醸成と課題設定の意義 3)課題設定の指導(1)「問い合わせ」の可視化指導 4)課題設定の指導(2)拡散的方法と集約的方法 |
| 第6回 | タイトル 学校図書館における情報活用能力の育成と評価(2) 情報の収集 1)情報探索計画の立案 2)情報収集の指導(1)学校図書館とインターネットの利用 3)情報収集の指導(2)読むこと・聞くことによる情報収集 4)情報収集の指導(3)記録方法の指導 |

| 回数 | 内容 |
|------|---|
| 第7回 | <p>タイトル 学校図書館における情報活用能力の育成と評価(3) 整理・分析</p> <p>1)情報の整理・分析方法の指導(1)思考ツールの活用 2)情報の整理・分析方法の指導(2)情報カードの活用 3)情報の整理・分析方法の指導(3)視点の指導</p> |
| 第8回 | <p>タイトル 学校図書館における情報活用能力の育成と評価(4) まとめと表現</p> <p>1)情報のまとめと表現の指導(1)まとめ・表現活動の種類と選択 2)情報のまとめと表現の指導(2)構成の検討 3)情報のまとめと表現の指導(3)作品の保存と総括的な評価</p> |
| 第9回 | <p>タイトル 情報サービスと学校図書館</p> <p>1)情報サービスとは何か 2)レファレンスサービス 3)児童生徒へのレファレンスサービス 4)教職員への情報サービス</p> |
| 第10回 | <p>タイトル 発達・情報ニーズに応じた学校図書館メディアの選択</p> <p>1)発達ニーズに応じた学校図書館メディアの選択(1)小学校 2)発達ニーズに応じた学校図書館メディアの選択(2)中学校・高等学校 3)情報ニーズに応じた学校図書館メディアの選択</p> |
| 第11回 | <p>タイトル 学習指導を支える学校図書館メディアと環境の整備</p> <p>1)教育課程に対応した学校図書館コレクションの構築 2)読書活動・探究活動を支援する学校図書館環境の整備</p> |
| 第12回 | <p>タイトル 教科等の学習指導の実際と学校図書館</p> <p>1)小学校における教科等の学習指導の実際 2)中学校における教科等の学習指導の実際 3)高等学校における教科等の学習指導の実際</p> |
| 第13回 | <p>タイトル 総合的な学習・探究の時間と学校図書館</p> <p>1)小学校における総合的な学習の時間の学習指導の実際 2)中学校における総合的な学習の時間の学習指導の実際 3)高等学校における総合的な学習の探究の学習指導の実際</p> |
| 第14回 | <p>タイトル 特別な教育的ニーズと学校図書館</p> <p>1)特別な教育的ニーズに応ずる教育 2)特別な教育的ニーズに応ずる学校図書館 3)特別な教育的ニーズに応ずる授業の実際</p> |
| 第15回 | <p>タイトル 司書教諭の役割と学習指導と学校図書館</p> <p>1)学習指導における学校図書館の活用の現状 2)これからの学校教育委における学習指導と学校図書館 3)司書教諭が担う役割</p> |

| | |
|-----|-----------|
| 科目名 | 読書と豊かな人間性 |
|-----|-----------|

科目のねらいと概要

今日の学校教育では、何かを調べるために本の一部分を読み取ることも、新聞や雑誌等の印刷資料を読み取ることも、電子情報や図表等の多様なメディアを読み取ることも読書と捉える傾向にある。一方で、長編を読み通す力も重要視されている。つまり、学校図書館の「学校の教育課程の展開に寄与する」「児童及び生徒の健全な教養を育成する」という目的や「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を読書指導においても横断的に考えていくことが求められている。

当科目では、学校図書館の目的と機能を生かし、読書の意義と目的、児童生徒の読書習慣の形成、発達段階に応じた読書指導など、学校教育における全教職員による読書指導の理解を図り、率先垂範する司書教諭としての実践力を養う。さらに、学校司書、公共図書館、保護者、地域社会等と連携し、その活動を推進する司書教諭の役割と責務について、より具体的な理解を図る。

内容

| 回数 | 内容 |
|-----|--|
| 第1回 | タイトル 読書の意義と目的 1)読みの力 2)読書の意義 3)子どものとての読書の意義 |
| 第2回 | タイトル 読書教育の系譜 1)日本の読書教育 1945年までの概要 2)学校図書館創設期 3)戦後の教育の変遷 4)子どもの本の変遷 5)読書教育を進めてきた人々 |
| 第3回 | タイトル 読書指導と学校図書館 1)読書指導と学校図書館 2)教育施策における読書 3)学校教育における読書 |
| 第4回 | タイトル 子どもの読書環境 1)子どもの読書実態 2)学校図書館・公共図書館の現状 3)子どもの読書活動の推進 |
| 第5回 | タイトル 発達段階に応じた読書指導 1)就学前 2)小学校低学年 3)小学校中学年 4)小学校高学年 5)中学生 6)高校生 |
| 第6回 | タイトル 子どもの本の種類と提供 1)図書資料の種類と特性 2)図書資料の選択 3)図書資料の提供 |

| 回数 | 内容 |
|------|---|
| 第7回 | タイトル 読書環境の整備 1)図書資料の整備 2)展示・掲示・コーナー 3)学年・学級文庫 |
| 第8回 | タイトル 子どもと本を結ぶための方法(1) 1)読み聞かせ 2)ブックトーク |
| 第9回 | タイトル 子どもと本を結ぶための方法(2) 1)ストーリーテリング 2)アニメーション 3)読書会 |
| 第10回 | タイトル 各教科等での読書指導・探究的な学習と読書指導 1)各教科等での読書指導 2)探究的な学習と読書指導 |
| 第11回 | タイトル 読書指導のための読書活動の実際(1) 1)小学校での読書活動例 2)中学校での読書活動例 |
| 第12回 | タイトル 読書指導のための読書活動の実際(2) 1)高等学校での読書活動例 2)特別支援学校での読書活動例 |
| 第13回 | タイトル 読書指導の推進と司書教諭・学校司書 1)全校で取り組む読書指導 2)司書教諭の職務と読書指導 3)学校司書の職務と読書指導への支援 |
| 第14回 | タイトル 個に応じた読書指導 1)特別の支援を要する児童生徒の読書指導 2)日本語を母語としない児童生徒の読書指導 3)個に応じた読書指導 |
| 第15回 | タイトル 地域社会との連携 1)学校図書館・公共図書館との連携 2)生涯学習施設等との連携 3)家庭文庫・地域文庫との連携 4)学校図書館支援センター |

| | |
|-----|----------------------|
| 科目名 | 情報メディア教育論(情報メディアの活用) |
|-----|----------------------|

科目のねらいと概要(400字程度)

21世紀を迎え、情報技術の発展、革新はめざましく、ネット上の情報が短時間で世界に拡散する今日、情報メディアを取り巻くリテラシーは、今日の学校教育において不可欠の要素となっている。

学校図書館が学習情報メディアセンターとして十全に機能するためには、司書教諭が現今的情報メディアに関する知識を習得していることに留まらず、校内の情報・メディア活用のリーダーとして他の教職員を支援できること、児童生徒の情報活用能力(情報リテラシー)育成のための知識を有していることが必須となる。

本科目は司書教諭のメディアの専門家・指導者としての役割に焦点を当て、司書教諭が学校、ことに学校図書館を拠点に、教育活動への情報メディアの利活用の推進役を担うことを目指して構成されている。さらには、学校内外において教員および児童生徒が留意すべき、著作権や個人情報保護など、情報をとりまく様々な権利や法制度についての知識習得をも目指したい。

内容

| 回数 | 内容 |
|-----|---|
| 第1回 | タイトル 情報と社会 1. 情報化の進展と社会 2. 情報化社会で求められる能力・学力 3. 教育と学校の情報化 4. 学校図書館と情報メディアの活用 |
| 第2回 | タイトル 教育・学習理論と情報メディアの活用 1. 発達とメディア 2. 情報活用能力と情報リテラシー 3. 新しい学習観と情報メディア 4. メディアリテラシー |
| 第3回 | タイトル 教育メディアの歴史(1) 1. 教育に活用される情報メディアの多様性 2. 近代以前のメディア 3. 活字資料～視聴覚資料 4. 放送教育～デジタルコンテンツ |
| 第4回 | タイトル 教育メディアの歴史(2) 1. コンピュータの誕生 2. コンピュータの教育利用 3. コンピュータによる教育・学習支援 4. 多様な教育・学習用アプリケーション |
| 第5回 | タイトル 情報メディアの種類と特性(1) 1. 図書資料 2. 逐次刊行物(新聞・雑誌) 3. パッケージ系メディア(CD・DVD等) 4. 閲覧機器や設備の管理 |
| 第6回 | タイトル 情報メディアの種類と特性(2) 1. デジタルメディア情報源(ウェブサイト) 2. デジタルメディア情報源(オンラインデータベース) 3. 電子書籍 4. 閲覧機器や設備の管理 |

| 回数 | 内容 |
|------|--|
| 第7回 | タイトル デジタルツールの活用 1. アプリケーション・ソフトウェア 2. 教育用ソフトウェア 3. コンピュータの周辺機器 |
| 第8回 | タイトル インターネット情報源の活用 1. インターネット上の多様な情報源 2. サーチエンジンの仕組みと検索技術 3. オンラインデータベースの活用 4. 図書館蔵書検索システム(OPAC)の活用と導入 |
| 第9回 | タイトル 児童生徒の情報行動の実態と指導 1. 児童生徒の情報行動 2. モバイル端末の利用実態と指導上の課題 3. 情報モラル教育 |
| 第10回 | タイトル 情報メディアの活用事例(小学校) 1. 小学校における体系的な情報活用能力の育成 2. プログラミング教育 3. 学校図書館における情報メディア環境整備 |
| 第11回 | タイトル 情報メディアの活用事例(中学校) 1. 中学校における情報活用能力(情報リテラシー)の育成 2. 教科教育と情報活用能力(情報リテラシー)の育成 3. 学校図書館における情報メディア環境の整備 |
| 第12回 | タイトル 情報メディアの活用事例(高等学校) 1. 教科「情報」の学習内容について 2. 情報活用能力(情報リテラシー)の育成 3. 探究型学習における情報メディアの活用 |
| 第13回 | タイトル 特別な支援を要する児童生徒への情報メディアの活用事例 1. 特別支援教育の現状 2. 学習障がい 3. 読字障がい 4. 学習を支援する情報メディアの活用 |
| 第14回 | タイトル 情報メディアを取り巻く連携の事例 1. 教員研修 2. 学校司書 3. 司書教諭養成とリカレント教育 |
| 第15回 | タイトル 情報メディアをめぐる課題と展望 1. 情報メディアの活用と知的財産権 2. 情報モラルと個人情報保護 3. 図書貸出記録の取り扱い 4. 学校教育における情報メディア専門家の役割 |